

2020年11月10日

各 位

大型バイオマス発電所に関するイーレックス株式会社との共同事業化検討の合意について ～石炭火力等からの転換を除き世界最大級のバイオマス発電所開発に向け環境アセスメントを開始～

当社（社長：大田 勝幸）は、イーレックス株式会社（社長：本名 均、以下「イーレックス」）と大型バイオマス発電所に関して共同で事業化を検討することに合意し、環境アセスメントを開始することにしましたので、お知らせいたします。

今回事業化を検討する発電所の設備出力は30万kWを予定しており、国内では最大、世界においても石炭火力など他エネルギー源からの転換を除けば、最大級のバイオマス発電所となります。また、再エネ賦課金という形での国民への負担がない、日本初となるFIT制度から自立したNon-FITの大型バイオマス発電所の実現を目指します。建設用地は当社が所有する新潟サンライズゴルフコース（新潟県北蒲原郡聖籠町）の一部を活用する計画です。また、使用するバイオマス燃料は、海外からの安価かつ安定供給が見込める燃料を検討してまいります。

当社は再生可能エネルギー事業を次世代の柱の一つとして位置づけ、メガソーラー（20カ所、約4.8万kW）、風力（2カ所、約0.4万kW）、バイオマス（1カ所、約6.8万kW）を全国で展開し、再生可能エネルギー事業の拡大に取り組んでいます。バイオマス発電については、2020年5月に室蘭バイオマスの商業運転を開始。供給安定性に優れた再エネ発電として、さらなる拡大を目指しています。

他方、イーレックスは、現在4基のバイオマス発電所を所有する国内有数のバイオマス発電事業者です。加えて、東南アジアの現地パートナーとPKS（パーム椰子殻）の集荷・製造事業に取り組むなど燃料事業にも力を入れております。

今後は、当社とイーレックスが培ってきたバイオマス発電に係る知見を活用して、2023年中の本工事着工、2026年度中の運開を目指し、共同で事業化検討を行ってまいります。

当社は、今後も、発電事業を通じてエネルギーの安定供給に取り組むとともに、環境配慮型エネルギー供給を積極的に推進し、低炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<本計画概要>

建設用地	新潟県北蒲原郡聖籠町東港2丁目160-6
事業区域面積	約40万㎡
設備出力	30万kW
使用燃料	バイオマス専焼
着工開始時期	2023年中(予定)
運転開始時期	2026年度中(予定)

<イーレックス概要>

設立	1999年12月
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号
代表者	本名 均
資本金	51億円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・電力小売事業・ガス事業・バイオマス発電事業・バイオマス燃料販売

以上

とどけ! 熱いエネルギー **ENEOS**